



2023年9月29日

各 位

会 社 名 株式会社リファインバースグループ
住 所 東京都千代田区有楽町二丁目2番1号
代 表 者 名 代表取締役社長 越 智 晶
(コード番号: 7375)
問い合わせ先 経 理 財 務 部 長 蓮 池 智 嗣
TEL. 03-6281-4879

(訂正・数値データ訂正) 2023年6月期 決算短信[日本基準] (連結)

当社は、2023年8月29日に発表した表記開示資料について訂正がありましたのでお知らせします。
また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信します。

記

1. 訂正の理由

2023年8月29日の公表後に、連結キャッシュ・フロー計算書の科目間の入り繰り誤りを含めた科目集計誤りにより記載内容の一部に誤りがあることが判明したこと、セグメント情報のその他項目において詳細を追記したこと、1株当たり情報について入力誤りがあったことから、訂正を行うものであります。

2. 訂正の内容 (訂正箇所には下線を付し、ハイライト表示しております)

○サマリ情報 1 ページ目

<訂正前>

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年6月期	531	△317	△266	859
2022年6月期	476	△92	40	912

<訂正後>

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年6月期	530	△317	△266	859
2022年6月期	476	△92	40	912

○添付資料 3 ページ目

1. 経営成績等の概況

<訂正前>

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物は、859,517 千円（前連結会計年度比 6.2%減）となりました。
当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は 531,192 千円（前連結会計年度に得られた資金は 476,461 千円）となりました。
これは主として税金等調整前当期純利益△477,639 千円、減価償却費 288,732 千円、のれん償却額 488,554 千円、減損損失 223,303 千円、売上債権の増加額 106,119 千円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出された資金は 317,727 千円（前連結会計年度に支出された資金は 92,772 千円）となりました。
これは主に有形固定資産の取得による支出 127,763 千円、子会社取得による支出 286,549 千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出された資金は 266,466 千円（前連結会計年度に得られた資金は 40,336 千円）となりました。
これは主に長期借入による収入 420,000 千円、長期借入金返済による支出 577,855 千円によるものであります。

<訂正後>

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物は、859,517 千円（前連結会計年度比 5.8%減）となりました。
当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は 530,961 千円（前連結会計年度に得られた資金は 476,461 千円）となりました。
これは主として税金等調整前当期純利益△477,639 千円、減価償却費 288,703 千円、のれん償却額 488,554 千円、減損損失 223,303 千円、売上債権の増加額 106,119 千円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出された資金は 317,699 千円（前連結会計年度に支出された資金は 92,772 千円）となりました。
これは主に有形固定資産の取得による支出 125,951 千円、子会社取得による支出 286,549 千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出された資金は 266,263 千円（前連結会計年度に得られた資金は 40,336 千円）となりました。
これは主に長期借入による収入 420,000 千円、長期借入金返済による支出 577,855 千円によるものであります。

○添付資料 10 ページ 3. 連結債務諸表及び主な注記

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

<訂正前>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)	当連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	220,147	△477,639
減価償却費	228,529	288,732
のれん償却額	—	488,554
リース解約益	△951	—
減損損失	—	223,303
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△568	4,223
受取利息及び受取配当金	△10	△29
支払利息	19,365	30,221
固定資産除売却損益 (△は益)	△5,552	△8,696
売上債権の増減額 (△は増加)	△115,458	106,119
棚卸資産の増減額 (△は増加)	35,484	△40,528
仕入債務の増減額 (△は減少)	47,988	△49,795
新株予約権戻入益	—	△928
未払金の増減額 (△は減少)	14,769	△44,438
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△295	△2,566
未収消費税等の増減額 (△は増加)	1,589	—
その他	40,965	101,233
小計	486,003	617,766
利息及び配当金の受取額	10	29
利息の支払額	△18,772	△31,616
法人税等の還付額	32,165	16,854
法人税等の支払額	△22,945	△71,840
営業活動によるキャッシュ・フロー	476,461	531,192
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△12,000	△27,000
定期預金の払戻による収入	36,000	36,000
有形固定資産の取得による支出	△102,430	△127,763
有形固定資産の売却による収入	39,652	20,451
無形固定資産の取得による支出	△5,770	△408
敷金及び保証金の差入による支出	△48,195	△573
敷金及び保証金の回収による収入	21	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△286,549
差入保証金の回収による収入	—	16,351
保険積立金の解約による収入	—	51,772
その他	△50	△8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△92,772	△317,727
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	50,000
短期借入金の返済による支出	—	△50,000
長期借入れによる収入	500,000	420,000
長期借入金の返済による支出	△380,952	△577,855
新株予約権の発行による収入	—	240
新株予約権の行使による株式の発行による収入	6,500	13,709
リース債務の返済による支出	△69,348	△88,239
割賦債務の返済による支出	△15,824	△34,107
自己株式の取得による支出	△37	—
その他	—	△214
財務活動によるキャッシュ・フロー	40,336	△266,466
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	424,025	△53,001
現金及び現金同等物の期首残高	488,493	912,518
現金及び現金同等物の期末残高	912,518	859,517

<訂正後>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)	当連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失 (△)	220,147	△477,639
減価償却費	228,529	288,703
のれん償却額	—	488,554
リース解約益	△951	—
減損損失	—	223,303
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△568	4,223
受取利息及び受取配当金	△10	△40
支払利息	19,365	28,438
固定資産除売却損益 (△は益)	△5,552	△8,696
売上債権の増減額 (△は増加)	△115,458	106,119
棚卸資産の増減額 (△は増加)	35,484	△40,528
仕入債務の増減額 (△は減少)	47,988	△49,795
新株予約権戻入益	—	△928
未払金の増減額 (△は減少)	14,769	△44,438
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△295	△2,566
未収消費税等の増減額 (△は増加)	1,589	—
その他	40,965	102,813
小計	486,003	617,523
利息及び配当金の受取額	10	40
利息の支払額	△18,772	△31,616
法人税等の還付額	32,165	16,854
法人税等の支払額	△22,945	△71,840
営業活動によるキャッシュ・フロー	476,461	530,961
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△12,000	△27,000
定期預金の払戻による収入	36,000	36,000
有形固定資産の取得による支出	△102,430	△125,951
有形固定資産の売却による収入	39,652	20,479
無形固定資産の取得による支出	△5,770	△2,220
敷金及び保証金の差入による支出	△48,195	△573
敷金及び保証金の回収による収入	21	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△286,549
差入保証金の回収による収入	—	16,351
保険積立金の解約による収入	—	51,772
その他	△50	△8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△92,772	△317,699
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	50,000
短期借入金の返済による支出	—	△50,000
長期借入れによる収入	500,000	420,000
長期借入金の返済による支出	△380,952	△577,855
新株予約権の発行による収入	—	240
新株予約権の行使による株式の発行による収入	6,500	13,709
リース債務の返済による支出	△69,348	△88,036
割賦債務の返済による支出	△15,824	△34,107
自己株式の取得による支出	△37	—
その他	—	△214
財務活動によるキャッシュ・フロー	40,336	△266,263
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	424,025	△53,001
現金及び現金同等物の期首残高	488,493	912,518
現金及び現金同等物の期末残高	912,518	859,517

○添付資料 12 ページ 3. 連結債務諸表及び主な注記
(セグメント情報)

<訂正前>

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、サービス別に会社又は事業部を置き、各会社又は事業部が取り扱うサービス・製品について包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループでは、会社又は事業部を基礎としたサービス・製品別のセグメントから構成されており、「素材ビジネス」及び「資源ビジネス」の2つを報告セグメントとしております。

「素材ビジネス」は、首都圏を中心に製品の原料となる使用済みカーペットタイルの処分受託を行っており、また調達した使用済みカーペットタイルを切削又は、粉碎加工することにより生成された再生樹脂、自動車エアバッグの製造工程から出る端材や使用済み漁網を裁断、洗浄、熱可塑化して押出加工することにより生成された再生樹脂等を販売しております。「資源ビジネス」は、首都圏を中心に産業廃棄物の中間処理・再資源化事業及び収集運搬事業、オフィス・マンションの解体工事業を行っております。

当連結会計年度(自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	素材ビジネス	資源ビジネス	計	
売上高				
外部顧客への売上高	1,521,701	2,950,304	4,472,006	4,472,006
セグメント間の内部売上高 又は振替高	68,727	1,815	70,543	70,543
計	1,590,429	2,952,120	4,542,549	4,542,549
セグメント利益	165,819	553,935	719,755	719,755
セグメント資産	1,626,386	2,389,901	4,016,288	4,016,288
その他の項目				
減価償却費	162,268	112,942	275,211	275,211
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	<u>69,009</u>	<u>97,683</u>	<u>166,693</u>	<u>166,693</u>

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	3,814,992	4,472,006
セグメント間取引消去	△82,090	△70,543
連結財務諸表の売上高	3,732,902	4,542,549

（単位：千円）

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	215,515	275,211	—	—	13,014	13,492	228,529	288,703
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	125,504	166,693	—	—	1,705	42,248	127,209	208,942

（注）有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、報告セグメントに帰属しない全社資産の増加額及び未実現利益の調整額であります。

【報告セグメントごとの資産に関する情報】

（子会社の取得による資産の著しい増加）

第1四半期連結会計期間において、株式会社コネクションの株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、「資源ビジネス」のセグメント資産が1,058,238千円増加しております。

【報告セグメントの変更等に関する事項】

第1四半期連結会計期間より組織変更に伴い、報告セグメントの名称を従来の「再生樹脂製造販売事業」を「素材ビジネス」へ、「産業廃棄物処理事業」を「資源ビジネス」にそれぞれ変更しております。この変更はセグメント名称の変更であり、セグメント情報に与える影響はありません。

なお、前連結会計年度の報告セグメントについても、変更後の名称で表示しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

（固定資産に係る重要な減損損失）

報告セグメントに帰属しない「全社費用」において、法定耐用年数到来前に使用予定がない遊休資産、コネクション取得時ののれん及びリサイクルナイロン製造関連資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当連結会計年度において633,002千円であります。

<訂正後>

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、サービス別に会社又は事業部を置き、各会社又は事業部が取り扱うサービス・製品について包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループでは、会社又は事業部を基礎としたサービス・製品別のセグメントから構成されており、「素材ビジネス」及び「資源ビジネス」の2つを報告セグメントとしております。

「素材ビジネス」は、首都圏を中心に製品の原料となる使用済みカーペットタイルの処分受託を行っており、また調達した使用済みカーペットタイルを切削又は、粉碎加工することにより生成された再生樹脂、自動車エアバッグの製造工程から出る端材や使用済み漁網を裁断、洗浄、熱可塑化して押出加工することにより生成された再生樹脂等を販売しております。「資源ビジネス」は、首都圏を中心に産業廃棄物の中間処理・再資源化事業及び収集運搬事業、オフィス・マンションの解体工事業を行っております。

また当連結会計期間より組織変更に伴い、報告セグメントの名称を従来の「再生樹脂製造販売事業」を「素材ビジネス」へ、「産業廃棄物処理事業」を「資源ビジネス」にそれぞれ変更しております。この変更はセグメント名称の変更であり、セグメント情報に与える影響はありません。

なお、前連結会計年度の報告セグメントについても、変更後の名称で表示しております。

当連結会計年度（自 2022年7月1日 至 2023年6月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント			合計
	素材ビジネス	資源ビジネス	計	
売上高				
外部顧客への売上高	1,521,701	2,950,304	4,472,006	4,472,006
セグメント間の内部売上高 又は振替高	68,727	1,815	70,543	70,543
計	1,590,429	2,952,120	4,542,549	4,542,549
セグメント利益	165,819	553,935	719,755	719,755
セグメント資産	1,626,386	2,389,901	4,016,288	4,016,288
その他の項目				
減価償却費	162,268	112,942	275,211	275,211
<u>のれん償却額</u>	—	<u>488,554</u>	<u>488,554</u>	<u>488,554</u>
<u>減損損失</u>	<u>210,736</u>	—	<u>210,736</u>	<u>210,736</u>
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	<u>68,962</u>	<u>1,455,969</u>	<u>1,524,932</u>	<u>1,524,932</u>

(注) 1. 「資源ビジネス」におけるのれん償却額には、特別損失に計上したのれん償却額 439,699 千円を含んでおります。

2. 当社グループは当連結会計年度において、株式会社コネクションを連結に含めており、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、株式取得に伴い発生したのれんが含まれております。

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	3,814,992	<u>4,542,549</u>
セグメント間取引消去	△82,090	△70,543
連結財務諸表の売上高	3,732,902	<u>4,472,006</u>

（単位：千円）

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	215,515	275,211	—	—	13,014	13,492	228,529	288,703
のれん償却額	—	<u>488,554</u>	—	—	—	—	—	<u>488,554</u>
減損損失	—	<u>210,736</u>	—	—	—	<u>12,566</u>	—	<u>223,303</u>
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	125,504	<u>1,524,932</u>	—	—	1,705	42,248	127,209	<u>1,567,181</u>

（注）減損損失の調整額はセグメントに帰属しない遊休資産に係るものであり、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、報告セグメントに帰属しない全社資産の増加額及び未実現利益の調整額であります。

【報告セグメントの変更等に関する事項】

当連結会計年度より組織変更に伴い、報告セグメントの名称を従来の「再生樹脂製造販売事業」を「素材ビジネス」へ、「産業廃棄物処理事業」を「資源ビジネス」にそれぞれ変更しております。この変更はセグメント名称の変更であり、セグメント情報に与える影響はありません。

なお、前連結会計年度の報告セグメントについても、変更後の名称で表示しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

減損損失に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2021年7月1日 至 2022年6月30日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2022年7月1日 至 2023年6月30日）

のれんの償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

なお、のれんの未償却残高に関しては、該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

○添付資料 15 ページ 3. 連結債務諸表及び主な注記

(1株当たり情報)

<訂正前>

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当連結会計年度 (2023年6月30日)
純資産の部の合計額(千円)	570,058	99,702
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	24,425	44,481
(うち新株予約権(千円))	(24,425)	(44,481)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	545,632	<u>99,702</u>
1株当たりの純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	3,312,798	3,338,084

<訂正後>

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当連結会計年度 (2023年6月30日)
純資産の部の合計額(千円)	570,058	99,702
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	24,425	44,481
(うち新株予約権(千円))	(24,425)	(44,481)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	545,632	<u>55,220</u>
1株当たりの純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	3,312,798	3,338,084

以上